

# 通電火災の対策について

## ○ 通電火災に注意しましょう！！

---

### 通電火災とは

- ・大規模な台風や地震などに伴う、長時間の停電から復旧された再通電の際に起こる火災のことです！
- ・令和2年7月の豪雨での被災地では、広範囲にわたる長時間の停電が発生しました。  
地震発生時だけではなく、台風などの風水害においても対策が必要です。

## ○ 通電火災の原因と危険性

---

### 地震発生時の原因と危険性

- ・損傷した配線などに再通電し、発熱発火する。
- ・地震によって転倒したヒーターに可燃物(カーテン、じゅうたん等)に接触したまま再通電し発火する。
- ・再通電時に発生した火花がガスに引火し、爆発する。

### 風水害発生時の原因と危険性

- ・浸水や雨漏りによる電化製品の基板等の損傷により、再通電時にショートが生じ発火する。
- ・コンセントに水分が付着し、再通電時にトラッキング現象が生じ発火する。

## ○ 停電時の対応

---

1. 停電中は電気機器のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜く。
2. 停電中に自宅等を離れる際はブレーカーを落とす。

3. 再通電時には、漏水等による電気機器等の破損、配線やコード類の損傷、周辺に燃えやすいものがないかなど、十分に安全を確認してから使用する。
4. 建物や電気機器に外見上の損傷がなくとも、壁内配線や電気機器内部の損傷により、再通電から長時間経過した後、火災に至る場合があります。通電後、煙やにおい等の異常を感じた場合は直ちにブレーカーを落とし、消防機関に連絡してください。

## ○ 日頃からの備え

---

- ・可燃物の落下や転倒を防ぐために、家具等の固定、居室内の整理整頓
- ・耐震自動消火装置や転倒 OFF スイッチなど安全装置付きの暖房器具を使用する。

### 🏠 火災予防のプロから、さらにワンポイントアドバイス

通電火災を防ぐ効果をもっと高めるためには……

- 住宅用分電盤（配線の損傷やショートを検出し電気を自動で遮断）
- 感震ブレーカー（大きな揺れを感知した時に電気を自動で止める）
- 漏電ブレーカー

を、設置することもお勧めです！！

### 🏠 備えはできましたか？ ここでセルフチェック

[地震火災を防ぐポイント（セルフチェックシートのダウンロード）](#)

## 参考資料

- ◎ 地震・風水害に伴う電気火災対策について火災予防啓発映像もご確認ください。  
[火災予防啓発映像：地震火災～あなたの命を守るためにできること～（外部サイトヘリンク）](#) 
- ◎ 地震発生時の電気火災対策には、感震ブレーカーが効果的です。  
[感震ブレーカー普及啓発チラシ\(外部サイトヘリンク\)](#) 

---

お問い合わせ先

児玉郡市広域消防本部：予防課

本庄市西富田 904 番地 3

TEL 0495-24-8392

FAX 0495-24-8393